

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.7</b>	0.15	-	-	-	-	2.7
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 遮音		<b>3.3</b>	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能	TLD50のS12・W1敷目板タイプの採用に依りDr-40を確保	4.0	0.30	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	-	-	-	-	
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	-	-	-	-	3.0
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 室温		3.0	0.60	-	-	-	-	
2 外皮性能		3.0	0.40	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-	-	-	3.1
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	-	-	-	-	
1 昼光率	昼光率2.4	4.0	0.60	-	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-	-	-	
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-	-	-	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	-	
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.4</b>	0.25	-	-	-	-	4.4
4.1 発生源対策		<b>5.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用し、低VOCの建材も全面的に採用している	5.0	1.00	-	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	-	-	-	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-	-	-	
4.3 運用管理		<b>5.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	全館禁煙にて喫煙所は建物内外に設置しない	5.0	1.00	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>4.0</b>	0.40	-	-	-	-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている	4.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 広さ感・景観	普通教室の天井高=3.0m	5.0	0.50	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	0.50	-	-	-	-	
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	内装材に超防汚性ビニル床シート、外部に露出する金属部材には、アルミ及びステンレスを採用。	4.0	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保	廃棄物のスペースを外部に確保しており、搬出も容易な計画としている。専用のSK及び水道を設置している。	4.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-	-	-	3.1
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.6</b>	0.30	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2級相当	4.0	0.20	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	普通教室:床フローリングt15、壁EP塗装(PBt12.5+12.5)、天井化粧石膏ボードt9.5	5.0	0.10	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水SGP(D)、雑排水VP(B)、汚水VP(B)、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高4.06m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.27	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		2900N/m <sup>2</sup> 以上	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.66	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.78 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		[BEI <sub>m</sub> 値] ≤ 0.90	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生アスファルト混合物及び再生砕石(舗装及び路盤)、再生ゴムチップタイ(屋上広場)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		木材の使用比率0.19	4.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のディテール及びGL工法を採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が4つ以上ある	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率=91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	